

令和6年度 第3回いなべ市行政改革推進委員会 会議録

会議名	令和6年度 第3回いなべ市行政改革推進委員会
開催日時	令和7年3月26日(水) 14:00~15:00
開催場所	いなべ市役所行政棟2階 庁議室
出席者	<p>【委員】6名 ※敬称略 丸山康人(会長)、佐々木文昭、伊藤章子、岡本孝文、近藤雄司、岡正光 欠席：林伸一</p> <p>【事務局】24名 山下正史(副市長)、出口和典(企画部長)、近藤栄人(総務部長)、大川洋海(都市整備部長)、伊藤ひろ(市民部長)、岩田長司(環境部長)、岡真水(福祉部長)、出口美紀(健康子ども部長)、若松辰彦(農林商工部長)、太田東洋(建設部長)、寺本靖彦(水道部長)、伊藤功(教育部長)、三好宏尚(会計管理者)、日柴喜巖人、中村政紀(監査委員事務局長)、岡武史(企画部次長兼財政課長)、伊藤真次(財政課)、多湖篤人(職員課長)、辻喜久子(職員課)、瀬古克成(管財課長)、栗嶋幹人(管財課)、小谷直仁(政策課長)、児玉吏(政策課)、堀田彰宏(政策課)、小林直樹(株)ジャパンインターナショナル総合研究所</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 説明事項 第2回いなべ市行政改革推進委員会の主なご意見 資料1 4 審議事項 第3次いなべ市行政改革大綱(案)について 資料2 5 次回の会議について 6 閉会
配布資料	<p>資料1 … 第3次いなべ市行政改革大綱：第2回いなべ市行政改革推進委員会の主なご意見</p> <p>資料2 … 第3次いなべ市行政改革大綱(案)</p> <p>参考資料1 … 第3次いなべ市総合計画基本構想抜粋 財政フレーム</p>
公開、非公開の別	公開
議 事 概 要	

1 開会

2 会長あいさつ

- ・今年度最後の推進委員会となります。まとめをよろしく申し上げます。

3 説明事項

第2回いなべ市行政改革推進委員会の主なご意見 **資料1**

- ・第2回いなべ市行政改革推進委員会でいただいた主な意見について政策課長から説明。

【丸山会長】

- ・前回出た意見を集約していただきました。追加の意見がありましたらお願いします。
- ・うまく要約されていない点があれば、チェックしていただきたい。今回の大綱の中で直ちに反映できるというわけではありませんが、次年度以降の会議の最終的なまとめの段階では反映できるものだと思いますので、追加的なものがありましたらよろしくお願いします。

【岡委員】

- ・人材の確保の4について、あくまでも人員不足の解消というニュアンスで前回提案させていただきましたが、実際に職員が十分に確保されているのであれば外部人材の活用に頼る必要はないのでは、と会議後に思いました。なので、この文言を入れていただくのは良いのですが、それ以外に職員力の向上という観点からすると、これからも地域活性化起業人などの外部人材を活用して、日頃から効率的・効果的に進めて見える民間のノウハウを少しでも吸収できるような環境づくりを行うとともに職員の研修等を重ねながら、職員力の向上につなげてもらうのも1つかと思います。

【政策課長】

- ・ご意見いただきましたように、いなべ市では行政サービスの充実という点で、外部人材の活用をさせていただきながら効率を図ることを重点的に取り組んでおります。なので、職員力や組織力の向上ではなく、効果的・効率的で安定した行政サービスの構築の基本方針に入れさせていただきました。

【丸山会長】

- ・行政単独で行うわけではなく、地域のカや外部の民間企業と連携して行う事業は増えてきているので、それに対して積極的に取り組んでいくことも必要です。また、前回の会議で岡本委員さんからもありましたように、地域の中で民間企業の方々と一緒に研修していくことを重ねていくことも重要です。
- ・18歳人口が現在70万人台ですが、15年後には42万人になると言われています。明らかに人口が減少しているので、自治体の職員の確保も難しくなります。長期的というには猶予がないかもしれませんが、そういった点も視野に入れながらバランスよく検討していただきたいと思います。
- ・全体的に見ると、情報発信が重要視されている。もちろん大事なことではあるが、一方は行政に必要な情報を集めるかという情報収集についても重要となってきます。どこの自治体でも、広報機能は充実しているが、情報収集担当はあまり聞きません。質の高い情報をいかに収集するのが必要となってきます。各部署がいろんな形で国や県と連携する中、新しい情報が入ってきた時にそれに対応しながら仕事を行っている、他部署との共有ができないという問題もあります。情報を庁内で共有できる体制作りを行い、その中で市民に必要な情報を発信するというステップが必要な気がします。情報は発信が大事ですが、同時に収集・共有といった側面も考えていただきたい。

4 審議事項

第3次いなべ市行政改革大綱（案）について **資料2**

- ・資料2、参考資料1に基づき政策課長が説明。

【丸山会長】

- ・大綱ということで、かなり抽象的となっている。具体的に何をするのかということもこの会議をベースに検討していく必要があります。
- ・P8の公共施設の老朽化について、年度を追ってグラフとして出していただくとよくわかります。いなべ市は最近に新たな施設を建設したが、従来の施設がそのまま残っていることが数値で出てきている。50年から60年くらい経過している建物もあるので、それをどのようにしていくのが課題です。継続していくにもかなり老朽化が進んでいるだろうし、老朽化したものを維持していくにも大変コストは掛かる。また、危険も伴うので、委員会ですべてをきれなく検討していくことが論点の一つだと思うので、ご理解をいただきたい。
- ・財政力もこのように見ていただくと、わかるように三重県や岐阜県は愛知県に比べると財政力指数が低く、国の交付金に依存しているということがわかります。そのような点から考えると、いなべ市はかなり財政的には、企業等もありますので高い方に位置しているのではないかと思います。県内で財政力指数が1を超えているのは、四日市市と川越町のみとなっています。自立できるよう努力していく必要はあります。
- ・公共施設のマネジメントや民間企業をはじめとする多様な主体との連携、協働という点に関しては、大きな都市と比較すると進んでいない印象があります。公民連携と言っても、相手がいなくていくら考えてもできないので非常に難しい。そういった意味では、民間の企業だけでなく市民の活力であったり、各種団体の力を活性化していただきながら連携していく努力も必要だと思います。隣接する地域で見れば、桑名市は積極的にPFIやPPPを活用している自治体だと思いますので、参考にしながら進めていただきたいと思います。

【近藤委員】

- ・公共施設の老朽化に対する進め方について、今までは何か問題があって（解体）できていなかったのか、ただ放置されてきただけなのか、また必要なため残っているのか。どのように進めてこられたのか教えていただきたい。

【管財課長】

- ・いなべ市公共施設等総合管理計画を策定しており、それに基づき統廃合していくよう計画しています。保健センターを建設したので福祉センターを解体したなど少しずつは進んでいますが、解体だけとなるとコストがかかるということで、なかなか進めることができない状況にあります。なので、まずは有効活用を考え、そこがなくなったら場合は、次にどういった活用ができるかを検討してきました。
- ・空き家状態となっても何かしら使えるのではということで残してきた経緯はあります。例えば藤原町の旧小学校は廃校となったのですが、地域の方に活用していただいたり、民間へ譲渡したりして解体せずに有効活用を図っている状況です。
- ・膨大な施設の数があり、全てがうまくいくものではありませんので、残ってしまっている建物もあります。
- ・今後は、財政的な補助があればそれを活用しながら削減していかないと、維持だけでも経費がかかりますし、近隣住民へ不安要素となります。そういった点も含めて今後検討していくことが必要だと思います。

【政策課長】

- ・公共施設に関しましては、来年度4回程度ご意見をいただく場を予定しています。

【丸山会長】

- ・作るの簡単だが、壊すのは行政は難しい。
- ・以前にいなべ市において、施設全部一通り洗い出しを行ったことがあります。補助金で建設したため直ちに壊せないという問題がありましたし、壊すとなると市民の反対が出てくるといった問題もあります。また政治的な判断もありますよね。こうなるとこの委員会ですっきりと明確な方針を出し、それに則って行政が動いてもらわないといけません。とはいえ、担当者も言っているようにかなり施設の数があり、手を付けられないでいる。そのような問題に関する補助金があるようならうまく活用しながら、整理する方向にいかなければいけないと思います。
- ・施設以外に、道路に穴が開くなどインフラの問題等もあります。どこがどれだけ昔に作られ、どういった問題があるのか、十分に調査されていないままあるのかもしれない。その点は、かなり全国の間でも不安が広がっているのので、インフラに関する調査や対応についても、視点として入れていただきたいと思います。

【岡本委員】

- ・大綱としては賛成ですが、項目として南海トラフ等震災リスク対応は3本の柱のどこに入るのでしょうか。方針の文章を変えてほしいというわけではありませんが、今後一緒に考えていきたいので、それも1つのテーマとして議論していきたいと思いました。具体的には、いなべ市の南側にあるデンソー、北側にトヨタ車体、西側にトヨタ合成、その真ん中に市役所、消防署、警察署がネットワークを繋ぐことで、有事の際に避難所や橋の状況などいろいろな情報共有が一斉にできるので、そのようなネットワークを構築できればと考えています。検討のほどお願いします。

【政策課長】

- ・この場合は行政改革の視点となります。南海トラフ等の対策につきましては、事業課において推進する事業になりますので、行政改革ではなく、来年度策定します総合計画の基本計画において記載させていただくことはあるかと思います。有事の際のネットワークを企業と連携させていただけるのはありがたいことなので、ぜひお力を貸していただければと思います。

【企画部長】

- ・将来のリスクに対する取組というのは、具体的な内容となるので、今後協議会というような形で進めていければいいかと思います。

【丸山会長】

- ・総合計画の中で議論していただき、個別の計画については担当部署が具体的な提案として検討していただく。そして議論した結果をこの委員会に戻していただくようお願いします。

【近藤委員】

- ・職員の組織力向上の部分で、いなべ市に愛着を持った方を育てるというイメージがありますが、採用時に市民を優先するなどの施策は行なっていますか。地元で強い人の方がいいのかなと思いましたので、お聞きしました。

【職員課長】

- ・公平性の観点からなかなか困難であると考えています。

【近藤委員】

- ・公平性も大事ですが、いなべ市に愛着を持ってもらうのではなく、最初から持った方を採用することで、もっと良くしていきたいといった思いを持った職員が増えるのではないかと思います。公平性と天秤にかけたときにどちらが大事なのかを議論するのもいいかと思います。
- ・東北の震災後もその地を離れず、復興していくための姿を見てくると、いざという時にもここに残る人を採用していくということを基本方針の1つにあっても良いのではないのでしょうか。公平さも大切ですが、1つの施策として地元愛のある方や地元の方をとというのはどうなのかなと思います。

【総務部長】

- ・募集時に地元の方の応募が少ないのが現状です。市外の方でもいなべの魅力に惹かれて応募してくれている方も多数います。いなべにきてこういうところが好きだ。こういう風に伸ばしていきたい。といったように、いなべを良くしたいという想いの方々の応募もありますので、そういう気持ちを持った方も大事だと思います。

【近藤委員】

- ・いなべブランドをどういう人たちが作り上げるかと考えたときに、愛着を持った方をメンバーにすることで、数年後には成果としていなべブランドとなると思います。今まで募集しても応募が少ないことに対して、何か足りないものがあるのではないかが明確になっていない気がします。それでもこれからも同じようにやりますよというのであれば、結果は同じではないかと感じてしまいます。

【総務部長】

- ・新規職員を確保するためいろんな工夫はしているが、そういったご意見もふまえて何か考えていきたいと思っています。

【丸山会長】

- ・この20~30年の流れで見ると、自治体で募集をする際に地域枠を作っていた。いなべであれば市内もしくは北勢地域出身の方だけが受けられるという募集していた。その方が定着率が高い。しかし、人が集まらなくなった。なので、ほとんどの自治体が地域枠を外してどこからでもいいので来てくださいというのが現状です。枠を大きく広げたとところで人が増えているかと言えば、私の体験上それほど上がっていない。なので、いなべ市は地域おこし協力隊という制度を活用している。
- ・いなべ市出身で東京や関西、愛知県の大きな大学へ行ってしまうと、戻ってきたくないのが実態です。数字的なものは正確には言えませんが、三重県はかなり離れる率が高い。いなべだとさらに厳しいかもしれない。この北勢地域の所得が比較的高いため、大学の選択時に東京や関西へというような状況になっています。となると行ったら帰ってこない。そういった人をどうやっていなべ市に戻すかというのが大きな課題だと思います。医者も奨学金を作って戻ってくるようにはしているが、応募がない。このようにいろいろ作戦を練ってはいるが確保に繋がっていないのが課題だと思いますし、そのための議論をここでしていかないといけない。
- ・藤原の小学校の統廃合の委員長も務めました。どれだけ子どもが生まれてくるのかと将来の数字を出していただいたところ、20・30代の女性がほとんどいない。ということは、その後子どもが生まれてくる可能性が非常に低い。統合して新しい学校を作ったところで10年20年後に維持できるか不安になるような状況でした。そういう傾向がだんだんと大きくなって来ますので、それに対応するには、どれだけ魅力あるか発信していかないといけない。魅力ある地域づくりを子どもたちに発信し、地元に戻って来てもらえるようにしなければいけません。また、いろんな形でいなべ市に若者が入ってくるような状況を作っていくことが大切だと思いますので、また議論させていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

【副市長】

- ・確かに採用事例については、以前私も担当しており市内枠を設けておりましたが、先ほど総務部長が言ったとおり、枠を設けても集まらないという現状でした。なので、今度は違ったやり方でと担当がいろいろと考えて取り組んでいます。今までは、待っているだけでしたが、これからはセールス・リクルートを行わなければいけないような時代になっています。大学へ訪問したり、説明会に参加したりとしています。1つのことを諦めて、もうやめたではなくもう一度見直していくことも必要なと思います。
- ・いなべの魅力発信が大事だと思っています。特に今、観光面の整備を充実させています。これは、いなべを選んでいただくため、いなべってこういうところなんだと知ってもらい、興味をもって訪れていただく、そういった方が移住していただき定住への試みです。

【丸山会長】

- ・地元企業の独身の方ができるだけ定着してもらい、退職後もこちらで過ごしていただけるよう、魅力がある地域にしていくことは大事です。採用の問題も含めて地元の企業の方々と連携していくことも大事ですし、勤めに来ている若い人達が夜過ごせる場所というのも含めて過ごしやすい空間作りが必要となってきます。ぜひ意見交換しながら進めていきたいと思っておりますので、次回以降もよろしくお願いたします。
- ・審議事項については以上とします。誤字脱字等についてはきちんと見直しをしていただくことと、今日いただきました意見は、整理して文章化しておいていただき、次回以降で対応していきたいと思っております。

5 次回の会議について

【企画部長】

- ・会長からお話のありました修正に関しましては、こちらで見直しを行い、会長と共有させていただきます。大きな変更でない場合は、会長に御一任いただく形で進めさせていただきます。
- ・次回の会議は、令和7年5月9日金曜日の午後2時からシビックコア棟2階の会議室で開催します。4月に入りましたら来年度のスケジュールを送付します。
次回会議は、総合計画審議会との合同開催となります。お忙しいなかと存じますが引き続きよろしくお願いたします。

6 閉会

【企画部長】

- ・本日の委員会の資料と会議録については、後日、市のホームページで公表させていただきます。本日はご多用のなか貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。以上をもちまして、令和6年度第3回いなべ市行政改革推進委員会を閉会します。どうもありがとうございました。